



満開のハマギク花壇をゆく「特急なみなと」(10/26)

おらが湊鐵道応援団報

第55号

勝田 阿字ヶ浦

JR東労組 湊線復興支援に296名のツアー



那珂湊駅構内で記念撮影。これで約3分の1の人数
この日だけの「特急なみなと」
応援団は焼き芋で一行をおもてなし

JR東労組3地本合同団臨プロジェクト2011主催の《なつかしのL特急ひたち号で行くみなと線復興支援の旅》が10月26日にありました。同労組の一行296名は、上野ー勝田間を485系6編成「L特急ひたち号」を再現した《特急ひたちなか》で、湊線は《特急なみなと》のヘッドマークを付けた旧型車の3編成に乗車してきました。

被災した海浜鉄道と那珂湊の町を支援しようと数ヶ月前から準備してきたこのツアーを、応援団はケハ601の前で探りたてのサツマイモ・紅マサリを焼き芋にして歓迎。駅舎では海浜鉄道のグッズ販売、那珂湊焼きそばや飲み物も地元商店の協力で販売したほか、鉄道写真家の広田泉さんも特別に写真集やグッズ販売で支援してくれました。

ツアーを企画した吉川直樹実行委員長からは「いつ来ても温かい歓迎をしてくれる那珂湊の皆さんが一日も早く復興することを願っています」と、海浜鉄道と応援団へ同労組からの義援金が贈られました。正午過ぎから夕方まで那珂湊に滞在した一行はこの間、おさな市場など市内を散策。海産物や鉄道グッズなどのお土産を手に那珂湊をあとにしました。ツアーの皆様ありがとうございました。

11月20日(日)にふれあいファン感謝祭

第3回目の「湊線ふれあいファン感謝祭」が11月20日(日)、午前10時より午後3時まで那珂湊駅と阿字ヶ浦駅を会場にして開かれます。湊線が一日乗り放題のフリー切符も通常800円が500円で販売されます。

イベントは、①ちびっこ駅員体験(制帽を借りて改札体験)②ちびっこ車掌体験(車内放送体験)③地元グルメ販売、④那珂湊駅車庫での車輛の洗車体験、⑤ミニ電車乗車体験、⑥鉄道グッズ販売、⑦制服記念撮影会など、お子様向けのイベントも多数あります。



昨年のふれあいファン感謝祭

■応援団義援金受付は11月末で終了します

3月の大震災以来、多くの皆様にご支援をいただいた湊線復興への応援団の義援金受付は、11月30日(水)でひと区切りさせていただきました。

たくさんのご協力ありがとうございました。おさむくんとおさむさくんの声が届きますように。



急行あしがうら号

2012 元旦は湊線で初詣・初日の出へ

案内役ボランティアを募集!

ひたちなか海浜鉄道とおらが湊鐵道応援団では、2012年元旦企画として午前5時32分勝田駅発の「急行あしがうら号」で行く、初詣・初日の出列車を運行します。年々この列車を楽しみに乗車されるお客様が増えています。

さらに今回は、6時19分勝田駅発の列車でも湊公園と那珂湊駅周辺の神社へ応援団員らのご案内します! 応援団では2本の列車の案内役ボランティアを広く募集します。

あしがうら号に乗車される先着300名様には、協力団体からのお年玉プレゼントも準備しています。前売り乗車券は12月より販売。詳細は11月末発行の応援団報でお知らせ致します。

■輸送人員増加したけど、震災で赤字決算

ひたちなか海浜鉄道は9月29日、震災による被災で遅れていた平成22年度(22年4月~23年3月)の決算を公表しました。開業3年目の昨年度は、震災による全線運休が3月末まで20日間あったものの、輸送人員は対前年度で1.6%増加し78万6,000人となり、営業収益も前年度並みの約2億3,290万円を確保。経常損失も3,700万円から約1,483万円に大幅に改善しました。

しかし、震災復旧工事費用約3億円のうち、確定した補助金分などを差し引いた自社負担分を特別損失に計上したことなどにより、最終損失は約1億3,944万円の大幅な赤字決算になりました。

国からの被災鉄道会社への復旧費(補助金)の枠組みは、まだ未確定ですが、復興に向けて明るい展望を期待したいところです。

沿線や各駅の清掃・環境整備ありがとうございます



那珂湊駅西側のハマギク花壇周辺の除草作業を10月1日、100名を超える周辺自治会の皆様のご協力をいただき実施しました。

駅名	11月6日(日)	12月4日(日)
中根	柳が丘・柳沢美田多・相金自治会	神数台
那珂湊	田中町 小川・龍之口町 関戸町	部田野小谷金 十三奉行
殿山	七丁目・牛久保町	和田町・殿山町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

各駅の清掃は毎月第一日曜日 朝8:30~8:50です。

秋の硬券フリー切符と応援券を販売中!

~応援券4種類ご呈示で特製プレゼントも差し上げます~

好評の硬券フリー切符と応援券の秋バージョンの販売を11月末日まで那珂湊駅窓口でしています。秋の切符は「D型硬券」。応援券200円とフリー切符800円のセットで1,000円です。フリー切符は平日でも利用できます。これで昨年12月から販売を開始した応援券は四季が揃います。4種類を那珂湊駅で呈示された方には、記念品として、シリアル番号入りの応援団員証と、硬券の入場券をバスターに入れたプレゼント致します。



facebookの地域団体ファンページで全国9位にランキング! ぜひご覧ください

- ◇応援団フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
- ◇応援団ツイッター <http://twitter.com/keha601>
- ◇おさむくんとおさむさん http://twitter.com/minato_osamu
- ◇線路脇の風景(ブログ) http://blogs.yahoo.co.jp/magical_brothers_diorama_office

MMM

アーティストとスタッフからのメッセージ

この夏に湊線沿線を会場に開かれたアートイベント「みなとメディアミュージアム」のアーティスト・スタッフからのメッセージが応援団に届きました。2回に分けて掲載します。

MMMのお話をいただいたとき、とても迷った記憶がありました。私自身作家活動を何年かしてきた中で、地域活性を目的としたアートイベントの場合、イベントを興す団体は協力的でも、現代アートに対する地域との温度差が見え、地元が非協力的になっている場合が多くあったからでした。しかし色々とお話を伺ったり、フィールドワークに行ってみたりしたところ、地元の方の「現代アート自身は良くわからなくても面白そうだからやってみよう!」という協力的な姿勢にとっても驚きました。実際に展示準備から地元の方にさまざまな協力をしていただき、今までの自身の行ってきた展覧会の中でも凄く最初から最後まで楽しく、思ったとおりに出来たものとなりました。都心や美術館では出来ないアートの場として地元の方の協力、意見は必要になってくると思います。今後どのようにMMMが続いていくのが楽しみです。《アーティスト 井口 雄介さん》



井口さんの作品「CUBeSCAPE」(右)と、本庄さんの作品「掴むしめ」(下)



MMMを終えてから2ヶ月が経ちました。だんだん寒くなってきて、あの暑い暑い夏が大分昔のことに感じます。MMMに参加させていただいて、作品と展示環境の関わり方、そして、一人では味わえない...何というのでしょうか、達成感?とただ言うには薄っぺらな気がしますが、技術的にも、精神的にも、少しは成長できたのかな?と感じます。



そんな私は今、相変わらず金属板を叩く日々を送っています。芸術の秋と言いますが...芸術をやっているものとしては、多忙によって秋を感じる気がします。...少し勿体無いですね。また、作品を通じてお会いできることを楽しみにしております。ありがとうございました。《アーティスト 本庄絵梨子さん》

今年で3年目となるMMMですが、今年度は何と云っても、那珂湊のまちとのつながりを深められた一年だったと思います。作品の展示準備はもちろん、パネルディスカッションや子ども向けのワークショップも含めて、直接的にまちの人と話す機会が多々あり、それらをきっかけにして、まちの人が私たちを仲間として受け入れ、活動を支援して下さることが増えていきました。



今年度の会期が終了し、来年度を見据える段階にある今、MMMが那珂湊のためにできることを考え始めています。アートプロジェクトMMMができることがまだまだあると思います。今年は、アートが人と人をつなげることを実感いたしました。そこをもっと生かしていけると思っています。作品の質の向上、アーティストとまちの人の積極的な交流の場の創出、作品の展示場所の検討等、来年度に向けて、バージョンアップしたMMMを開催できるよう、より一層まちとつながりを生み出せるよう、これからも頑張っていきます。《スタッフ 速見 友里さん》

湊線乗車でおトクを実感! ご利用ください! 「乗車特典サービス」

- ★乗車特典サービスは、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する「乗車証明書」(当日限り有効)を参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられるサービスです。現在沿線50店(施設)以上が参加し、お買物や宿泊で優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店名簿は、那珂湊駅待合室に常備してあります。また、海浜鉄道HPと応援団facebookでも随時更新しています。ぜひご利用ください。

